

# 北小ものがたり



異国情緒漂う中華街、時はまさに「ブルーアワー」。

## 修学旅行に行ってまいりました

5月15日～17日まで6年生が修学旅行に行ってきました。

今年のテーマは、「一致団結 どんなことも乗り越えろ ～チームワークを発揮して最高の旅にしよう～」でした。6年生の子どもたちは、テーマの通りに、仲間を大切に、協力し合いながら楽しく活動することができたように思います。

2泊3日の旅程の中で、6年生は普段の生活では得ることのできない貴重な体験をすることができました。

1日目の国会では、幸運なことに本会議の様子を見学することができました（この場合、正しくは「見学」ではなく「傍聴」です）。代表質問とそれに対する大臣の答弁を実際に見ることができました。普段はテレビでしか見たことのないやり取りが、実際に目の前で行われているのを見て、子どもたちも少し興奮しているようでした。傍聴席まで至るまでの警備や通路の雰囲気も厳粛で、その緊張感も味わうことができました。

第五福竜丸の見学では、学芸員さんの講話を一生懸命に聞いていました。1日の最後の見学場所ということもあり、疲労もたまっているかとも思われたのですが、悲惨な核実験による被ばくの現状に触れ、最後まで緊張感を保ちながら見学する6年生の姿に成長を感じることができました。

2日目のメインは、ディズニーランド、それぞれ楽しみにしていたと思いますが、自分勝手な行動を慎み、みんなで楽しく行動することを第一に考えていたようでした。中華街では、チャイナタウン特有の街の雰囲気に驚き、円卓を囲み、楽しいひと時を過ごしました。

3日目は鎌倉班別自主見学、古都鎌倉を事前に計画したコースを班ごとに見学しました。順調に見学を進めた班、時間通りに回れなかった班、友達の体調も考えて柔軟に計画を変更した班、各般の事情によってそれぞれでしたが、ゴールの鶴岡八幡宮の太鼓橋には全部の班無事到着することができました。子ども達の顔には、やり切った達成感が表れていました。

3日間で大きく成長した6年生、この経験を、これからの生活、学習に役立ててほしいと思います。

## 引き渡し訓練

5月22日（水）に引き渡し訓練を行いました。今回は、震度5弱以上の地震が起きたとの想定で行われました。

今年は、1月1日に能登半島を震源とする大きな地震が発生し、多くの方々がお亡くなりになり、甚大な被害が発生しました。また、近年南海トラフ地震の発生も危惧されているところです。そのような状況に鑑み今年度の引き渡し訓練は徒歩によることをお願いいたしました。保護者の皆様方にはご協力いただき本当にありがとうございました。おかげさまで、本当にスムーズに引き渡しが終了しました。

校長の挨拶でも申し上げましたが、保護者による引き渡しが行われるときは、大きな地震が発生しそうになったとき（南海トラフ地震臨時情報等による）、原則震度5弱以上の大きな地震が発生したとき（地域の状況を確認しつつ）、台風や大雨で被害が発生しそうなどとき、不審者や犯罪の容疑者が逃げていて危険などとき、危険な動物が出た時などがあります。

また、引き渡しの方法も、必ず校庭で行うというものでもなく、校庭への1次避難後、校舎等の安全が確認された場合、天候によっては教室や体育館で引き渡しを行う場合もあります。その場合、メールや学校での案内・指示に従っていただきたくご協力をお願いいたします。

なお、緊急連絡カードに引き取り者を記入いただいておりますが、緊急時には、記入いただいた方以外には引き渡しできませんので（仮に児童の同意があってもお引き渡しできません）ご承知おきください。引き渡し者に変更がある場合には、必ず事前に担任までご連絡いただきますようお願い申し上げます。



2

## 児童総会

5月23日（木）に児童総会が行われました。児童会活動は教育課程に位置付けられた活動で、小学校学習指導要領によれば、「異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む」こととなっています。

総会は、3年生以上の児童が参加して行いました（1、2年生は児童会の準会員となっています）。

今年の児童会の活動スローガンは、「前進 ～新しい一歩～」です。原案を作った児童会本部役員が提案理由を説明し、討議の後、全会一致で採択されました。

具体的な活動の柱として、「あいさつのできる学校」、「みんなで協力できる学校」、「きれいで安全な学校」提案され、それぞれに具体的な取り組みが提案されました。その中で、「きれいで安全な学校」では、そうじ活動について、清掃がうまくできていないことを問題提起する意見から、クラスごとの話し合い活動に進み、その結果、児童会の活動として無言清掃の決まりをつくり、取り組んでいくこととなりました。

「異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて」「自主的、実践的に取り組む」児童会活動の理念が生きた活動となったように思います。

児童総会が終了し、活動の具体的な方針が定まりました。いよいよこれからはそれを実行に移していくこととなります。児童会の役員だけではなく、全校児童が自覚をもって児童会活動を進めてほしいと思います。

## 校長より

毎朝、教頭とともに児童玄関に立って、登校する子どもたちを迎えています。5月下旬になり、新しい校長、教頭の顔を覚えてくれたのか、元気よく、視線を合わせてのあいさつができる子どもが多くなってきました。元気のよいあいさつは、暗い気持ちを吹き飛ばし、気持ちを前向きにもしてくれます。あいさつについては、今後学校や児童会でも取り組んでまいりますので、ご家庭でのご指導もよろしくお願いいたします。